

令和4年度学校安全指導者養成研修 実施要項

1 目的

各地域・学校において児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校安全における三領域（生活安全・交通安全・災害安全）に関し、必要な知識等を習得させ、各地域における研修講師等として、1) 学校安全に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2) 学校、地域において教職員の専門性向上を推進する力、を發揮し、指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間等（第1回・第2回のいずれかを選択する）

回	期 間
1	令和4年 8月 1日（月）～ 8月31日（水）
2	令和4年11月 1日（火）～ 11月 4日（金）11/3(木)を除く

5 実施方法

回	研修形態	実 施 方 法
1	Cタイプ	学習管理システムを用いたオンライン研修
2	Aタイプ	Zoomを用いたリアルタイム・オンライン研修

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部 〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

7 標準定員

回	標 準 定 員
1	200名 ※標準定員は設定しているが、推薦人数に上限は設けない
2	120名（6ユニット）

8 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者
- ② 幼稚園の園長、副園長、及び小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭、養護教諭等であって、学校や当該地域において本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生
なお、教職経験のない教職大学院の学生は、8月1日～8月31日開催の学習管理システムによるオンライン研修のみ受講可

※ 「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を10%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦人数

回	標準定員
1	都道府県・指定都市・中核市等ごとの推薦人数に、制限は設けない。
2	各都道府県（中核市分を含む）においては2名程度、各指定都市においては1名程度とする。なお、中核市を複数有する都道府県においては、各中核市からの推薦数を1名以内とした上で、上記基準を超過して推薦できるものとする。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和4年6月27日(月)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会、都道府県知事部局、国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学においては、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。研修形態Aタイプについては、標準定員を超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

9 研修内容

回	研修内容
1	別紙1「日程表」のとおりとし、研修終了後に「課題レポート」を提出する。 「課題レポート」の様式・提出方法については、受講者決定時に別途連絡する。 ※ オンデマンド型の特性を活かし、自分のペースで研修を進めることが可能となっている。理解を深めたい部分については、繰り返しの視聴が可能である。
2	別紙2「日程表」のとおりとする。 ※ 講義・演習は担当講師の指導のもと、同時双方向通信で実施することで、実践的な演習の充実を図り、より専門的な内容となっている。なお、研修終了後、講義動画を再視聴することが可能である。

10 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

受講者及び所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

11 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や当該地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後、1年程度の期間を経た後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

12 その他

(1) すべての講義を受講し、「課題レポート」（第1回のみ）を提出した受講者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

- (2) 第1回(研修形態Cタイプ)は、学習管理システム「学びばこ」((株)テクノカルチャー)を用いて研修を配信するものである。なお、「学びばこ」は専用のソフトウェアやアプリをダウンロードする必要がなく、対応するブラウザであればスマートフォン等の端末からも受講可能である。
- (3) 第2回(研修形態Aタイプ)は、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」((株)Zoom ビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行うオンライン研修である。受講に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、一人一台準備すること。
- (4) システム上は時間・場所を問わずに視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。
- (5) 本研修の受講に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和4年度 学校安全指導者養成研修(第1回) 日程表 (Cタイプ:令和4年8月1日～31日)

		9:00								16:00		
1日目	開講にあたって	第1講(45) 学校安全の現状と課題	リフレクション	第2講(45) 学校安全の考え方	リフレクション	昼 休 憩	第3講(45) 発達段階に応じた 効果的な教育と組織活動① 生活安全	リフレクション	第4講(45) 発達段階に応じた 効果的な教育と組織活動② 交通安全	リフレクション		
2日目		第5講(45) 発達段階に応じた 効果的な教育と組織活動③ 災害安全	リフレクション	第6講(45) 効果的な安全教育の進め方	リフレクション	昼 休 憩	第7講(30) 学校事故事例報告 不審者対応	リフレクション	第8講(30) 学校事故事例報告 救命措置	リフレクション	第9講(30) 学校事故事例報告 災害発生時の対応	リフレクション
3日目		第10講(45) 危機管理体制の現状と課題	リフレクション	第11講(45) 地域の災害リスクを踏まえた 危機管理のあり方	リフレクション	昼 休 憩	第12講(45) 学校安全の 組織的な推進体制	リフレクション	第13講(45) 研修成果の活用	リフレクション	閉 講 に あ た っ て	

※各講義は意図的に配列しているため、日程表のとおり、第1講から順番に受講願います。

※「リフレクション」とは、講義内容について、自身の教育実践を振り返りつつ理解を深める、個人演習の時間です。

※午前・午後ともに、講義・演習とリフレクションで150分で構成しています。適宜、休憩を入れながら受講して下さい。

令和4年度 学校安全指導者養成研修(第2回) 日程表 (Aタイプ:令和4年11月1日~4日)

11/1 (火)	開講にあたって	オリエンテーション	9:00	9:15	9:30	10:45	11:00	12:15	13:15	14:30	14:45	16:00		
			第1講(75)	学校安全の現状と課題	休憩	第2講(75)	学校安全の考え方	昼休憩	第3講(75)	発達段階に応じた効果的な教育と組織活動① 生活安全	休憩	第4講(75)	発達段階に応じた効果的な教育と組織活動② 交通安全	諸連絡
11/2 (水)		ミーティング	9:15	9:30	10:45	11:00	12:15	13:15	13:55	14:00	14:40	14:55	15:25	16:00
			第5講(75)	発達段階に応じた効果的な教育と組織活動③ 災害安全	休憩	第6講(75)	効果的な安全教育の進め方	昼休憩	第7講(40)	学校事故事例報告①[30分] 不審者対応	休憩	第8講(40)	学校事故事例報告②[30分] 救命措置	休憩
11/4 (金)		ミーティング	9:15	9:30	10:45	11:00	12:15	13:15	16:00					
			第10講(75)	危機管理体制の現状と課題	休憩	第11講(75)	地域の災害リスクを踏まえた危機管理のあり方	昼休憩	第12講(150+休憩15) 学校安全の組織的な推進体制と研修成果の活用				閉講にあたって	

※2日目、3日目の入室開始は、9時からとし、朝のミーティングを9時15分から始めます。

※午前・午後ともに、講義・演習を150分で構成しています。